

## 金沢大学における「学認」導入状況と統合認証基盤整備事業

発表者：笠原 禎也（金沢大学総合メディア基盤センター）

金沢大学は、平成 20 年度より学術認証フェデレーション（学認; GakuNin）実証実験に加わり、平成 21 年度からの GakuNin 試行運用フェーズ時点から運用フェデレーションに参加している。運用フェデレーションにおいては、本学の認証サーバ（IdP）を運用するほか、本学からのフェデレーション向けサービス（SP）として、メールに添付できない大容量ファイルを一時的に預かり、受信者に届ける「ファイル送信サービス」と、実験データや画像等の電子ファイル（非文献コンテンツ）をリポジトリとして公開する「非文献公開サービス」を運用している。

一方、学内においては、GakuNin と同じ Shibboleth 認証方式を採用した統合認証基盤を構築し、学習管理システム（LMS）、図書サービスをはじめ、緊急時連絡システム・シラバス・成績管理・SNS・給与明細など、教育・研究・業務にわたる種々の学内情報サービスを一括して利用可能な全学ポータルシステムを整備・運用している。

本講演では、本学が GakuNin 参加に至った経緯と現在の運用状況、さらには全学情報サービス基盤としての学内統合認証基盤の整備・運用の現況を報告するとともに、今後の将来計画について紹介する。

## GakuNin と金沢大学統合認証基盤

